

開催日 2020年12月9日 (水) 10:00~16:30

開催方法 Zoomによるオンライン 定員1,000名

参加费 無料

QRコードまたは 下記URLより事前にお申込み下さい。 第1部のみ、第2部のみのご参加も可能です。

https://osakalifesupport.or.jp/resuscitation_acad/contact.html

第1部(10:00~12:00)

申込方法

病院外心停止記録活用研究会 『COVID-19 に対する 病院前救急医療体制』 第2部(13:00~16:30)

特別講演 『With コロナ時代の救命対応 〜ピッツバーグの現場から〜』 Medical Rescue Team South Authority Paramedic 二宮智将

主催:NPO大阪ライフサポート協会

共催:大阪医科大学 救急医学教室

大阪市立大学医部附属病院 救命救急センター 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 関西医科大学附属病院 高度救命救急センター 京都大学環境安全保健機構附属 健康科学センター 後援:大阪府·大阪府下消防長会

第8回 大阪蘇生アカデミー開催概要

テーマ: With コロナ時代の救命対応

開催日:2020年12月9日(水)

会場:Zoom webinar によるオンライン開催

内容:

午前の部では、『COVID-19:院外心肺停止に対する病院前対応:文献レビュー』、『COVID19 院外心肺停止患者の病院前救急医療の現場~消防の立場から~』、『COVID19 院外心肺停止患者に対する Advanced Airway Management』、『COVID19 診療における医療スタッフのストレスチェック』という 演題にて、COVID19 流行期における院外心停止患者への病院内外での対応に関する問題点を、最前線で関わっておられる 4 演者より講演いただいた。

午後の部では、特別講演としてピッツバーグで Paramedic として活躍されている二宮智将氏を招いた。『With コロナ時代の救命対応~ピッツバーグの現場から~』と題する講演では、アメリカにおける病院前救急活動をご紹介いただき、COVID19 感染が最も流行している国での救急対応の実情に触れることを通じ、日本における病院前救急医療活動に大変参考になる講演をいただいた。

教育講演では、市立ひらかた病院の小林正直先生より、『COVID19 対応-世界の潮流と我が国の取り組み-』と題し、COVID19 流行期の蘇生アルゴリズムについて普段の対応との違いに焦点を置き講演いただいた。

シンポジウム『With コロナ時代の救命対応』では、『救急業務における新型コロナウイルス感染症の対応』、『第1波、第2波から見えてきた救急医としてのコロナ対応の課題点』、『人工呼吸管理を要した重症 COVID19 感染症例に対する当院での治療成績』と題して、3 演者からコロナ禍における救命対応の実情を共有していただいた。リアルな現場の状況についての講演を通じ、ディスカッションも大いに盛り上がった。

成果:

救急救命士を主な参加者としつつも、医師、看護師、学生など様々な職種から 600 人を越える予約があった。当日は常時 300~400 名のアクセスが有り、のべ 700 件を越えるアクセスを得て、全国から過去最大の参加をいただいた。「With コロナ時代の救命対応」というテーマのもと、COVID19 流行期における蘇生活動に伴う最新の知見を共有すると共に、行政、病院、消防と異なる立場から救急現場の活動について活発な情報交換・意見交換をおこなった。アンケートの結果からは、多くの参加者が本会に満足し、次回の開催を期待している事を窺い知ることもできた。

- <主催>特定非営利活動法人 大阪ライフサポート協会
- <後援>大阪府、大阪府下消防長会
- <共催>大阪医科大学 救急医学教室

大阪市立大学医部附属病院 救命救急センター 大阪大学医学部附属病院 高度救命救急センター 関西医科大学附属病院 高度救命救急センター 京都大学 環境安全保健機構 附属健康科学センター

<協賛>

(順不同)株式会社フィリップス・ジャパン、日本光電工業株式会社、日本メディカルネクスト株式会社、日本ストライカー株式会社、旭化成ゾールメディカル株式会社、オムロンヘルスケア株式会社、レールダルメディカルジャパン株式会社、株式会社アレクソン、浜松ホトニクス株式会社、アイ・エム・アイ株式会社、株式会社ドーン、三和製作所、株式会社グッドケア、ジーエムメディカル株式会社

連絡先

(住所) 〒533-0033 大阪府大阪市東淀川区東中島 1-17-5 ステュディオ新大阪 416 号

(氏名) NPO 法人 大阪ライフサポート協会 事務局

(電話・FAX番号) TEL: 06-6370-5883 FAX: 06-6370-5884

午前の部 閉会挨拶



午後の部 特別講演



午後の部 シンポジウム



午後の部 教育講演



午後の部 シンポジウム



午後の部 閉会挨拶

